

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	たっち		
○保護者評価実施期間	R7年1月10日		～ R7年1月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	R7年1月16日		～ R7年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年1月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間でのミーティングをこまめにおこない、情報共有や支援内容の確認をおこなっている	毎日、朝のミーティングと、昼から出勤のスタッフを交えたミーティングをおこない、前日の療育の振り返りや情報共有や支援内容についての確認をしたり、アドバイスをしている	全ての利用者に統一した支援がおこなえるよう、職員のスキルアップに努める
2	土曜日活動は利用者が興味関心を持って楽しく参加できる活動をおこなっている	・担当者が立案した活動に対して、その日の利用者の特性や年齢などを考慮して全職員で検討・確認し、移動時間や移動手段、利用する施設があれば活動日のスケジュールなども確認している ・公共機関や施設を利用する際のルール、異学年と関わりながら集団活動に必要なルールを学べるよう意識している	利用者が『行きたいところ』『したいこと』などを企画して実行することもおこなっていきたい
3	保護者様との連携やコミュニケーションを大切にしている	・お迎え時の面談や、6か月に1回のモニタリングだけでなく、保護者様の要望に応じて随時、面談や助言、支援をおこなっている ・2024年度は親子イベントで釣り大会と陶芸体験の2回おこなった	今後も保護者様との連携を大切にし、イベントやペアトレをおこなう中で保護者様とのコミュニケーションをとっていききたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会がない	療育を『習い事』として通わせておられる利用者もおられることから、積極的な交流をおこなっていない	利用者の要望等があれば検討していく
2	自立支援協議会への参加ができていない	自立支援協議会と直接関わる機会がない	必要に応じて参加していく
3	・療育スペース	・毎年、アンケートで「狭い(ように感じる)」のご意見が多い ・建物の構造上、手洗い場に坂が出来ている	・手洗い場の坂には、目立つようテープを貼ったり、すべり止めをつける等の対策を今後もおこなっていく ・今後も活動内容に応じて机の配置の工夫や小チームごとの活動、畳コーナーやサロンなどに分かれての活動をしていく